

(資産運用会社)

ジャパンエクセレントアセットマネジメント株式会社



Japan Excellent, Inc.

ジャパンエクセレント投資法人

平成27年3月27日付で公表した各種施策について

平成27年3月27日



本プレゼンテーション資料は、平成27年3月27日公表の「投資口の発行に係る発行登録書の提出に関するお知らせ」、「資産の取得及び貸借に関するお知らせ(日石横浜ビル)」及び「資金の借入れに関するお知らせ」にて公表した各種施策の概要を纏めたものです。

(証券コード: 8987)

本投資法人は、以下、平成27年3月27日付で3つの施策を実施済み又は実施予定であり、また2つの施策を検討中です

本投資法人は、従来通りLTV水準を適切にコントロールしつつ1口当たり分配金の維持向上に努めていく方針です。日石横浜ビルの取得、保有物件の譲渡及び新投資口の発行が平成27年6月期、平成27年12月期の業績及び1口当たり分配金に与える影響は、現時点の想定通りであれば軽微となる見通しです^(注1)。

実施済みもしくは実施予定の施策

①日石横浜ビルの取得

- 2015年3月27日売買契約締結^(注2)。2015年4月1日に245億円で取得予定
- 取得資金は新投資口(一般募集)の発行による調達資金^(注3)、借入金^(注3)及び自己資金を予定

②発行登録書の提出

平成27年3月27日付けで、投資口の発行登録書を関東財務局長宛に提出

- 発行予定額50億円、期間1年を設定^(注4)
- 手取金は、特定資産の取得に伴う借入金の返済に充当^(注3)

③短期借入金

- 2015年3月31日に日石横浜ビルの取得資金として245億円を借入れ予定^(注5)

検討中の施策^(注6)

④保有物件の譲渡

- 保有物件の譲渡を現在検討中^(注1)

⑤新投資口の発行

- 手取金は、特定資産の取得に伴う借入金の返済に充当

【注記】

- (注1)平成27年6月期及び平成27年12月期の業績見通しについては、日石横浜ビルの取得による影響及び現在検討中の保有物件の譲渡の成否による影響並びに平成27年3月27日公表の「投資口の発行に係る発行登録書の提出に関するお知らせ」に記載の新たな投資口の発行が行われた場合の影響が判明し次第、速やかに公表いたします。
- (注2)平成27年3月27日公表の「資産の取得及び貸借に関するお知らせ(日石横浜ビル)」を参照ください。
- (注3)新投資口(一般募集)の発行により調達する予定の資金は、横浜日石ビルの取得に伴う借入金の返済に充当される予定です。借入金の詳細については、平成27年3月27日公表の「資金の借入れに関するお知らせ」を参照ください。
- (注4)発行登録の概要については、平成27年3月27日公表の「投資口の発行に係る発行登録書の提出に関するお知らせ」を参照ください。
- (注5)借入れの詳細については、平成27年3月27日公表の「資金の借入れに関するお知らせ」を参照ください。
- (注6)検討中の施策については、本書の日付現在について、決定した事項はありません。決定次第、速やかに公表いたします。

【ディスクレーム】

- ・本プレゼンテーション資料は、情報提供を目的として、本投資法人及びその資産運用会社(ジャパンエクセレントアセットマネジメント株式会社)が作成したものです。本プレゼンテーション資料は、有価証券の募集・売出し、販売、勧誘を構成するものではありません。
- ・本プレゼンテーション資料で提供する情報に関しては万全を期しておりますが、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。また、予告なしに内容が変更又は廃止される場合がございますので、予めご了承ください。
- ・本プレゼンテーション資料には、本投資法人及び本資産運用会社の現時点での分析、判断、その他の見解が含まれています。これらについて異なった見解が存在し、又は本投資法人もしくは本資産運用会社が将来その見解を変更する可能性があります。
- ・本プレゼンテーション資料には、現在の計画、目標、予想及びその業績に関するその他の将来の見通しが含まれています。これらの見通しは、将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素が含まれています。実際の業績は、さまざまな要因により、これらの見通しとは異なることがあります。かかる将来の見通しに関する記述に明示的又は黙示的に示される情報と、大幅に異なる結果となるおそれがあります。
- ・本プレゼンテーション資料には、将来の方針や業績結果等に関する記述が含まれていますが、これらの記述は将来の方針や業績結果等を保証するものではありません。